

## 社外取締役インタビュー



独立社外取締役 監査等委員  
神野 榮

略歴、選任理由については、P54をご覧ください

## 取締役会等での発言を通じて、 監視機能を十分に果たすとともに その実効性向上に貢献してまいります。

### 独立社外取締役から見て、コスモエネルギーグループの 独自性や競争優位性についてお聞かせください。

コスモエネルギーグループは上流から下流までの“石油開発－精製販売－石油化学”の一貫した強固な石油事業ポートフォリオを持ち、加えて成長性のあるトップクラスの再生可能エネルギー事業も抱えた夢のあるグループだと考えております。

### 独立社外取締役から見て、コスモエネルギーグループの ガバナンス(安全施策の徹底を含む)に関して、優れている と思う点、課題と思う点をそれぞれお聞かせください。

優れていると思う点としては、まず、ガバナンスの確立に対して経営トップの意思が明確であることがあげられます。中期経営計画にもそれが如実に現れており、着実にグループ全体に浸透しつつあります。

課題としては、例えば安全施策の徹底などがあげられます。製油所の安全文化醸成に向けた取り組みを如何に定着させるかを注視しております。

### ガバナンスの強化という観点で、この1年で感じられた 変化や進化があれば教えてください。

ホールディングス化して3年たちましたが、内部統制の仕組みや意識のグループ各社への浸透及び展開が、大きく進んだ年であったと思います。また、役員の選任、報酬の決め方など、透明性が高くなり指名・報酬諮問委員会が機能していると感じております。

### 監査等委員会と取締役会の関係について、今後更に 強化していく点があればお聞かせください。

取締役10人のうち3名が監査等委員であり、指名報酬委員会の委員の過半数が独立の監査等委員であること、常勤監査等委員の社内の重要な会議への出席、経営トップや各部門執行部との定期的なコミュニケーション、またこれらを踏まえた

取締役会などの会議における積極的な発言を通じて独立の立場での監視機能は十分果たされており、その実効性を高めるよう努めてまいります。

### この1年にご出席された取締役会などを振り返って、 取締役会の実効性が効いていると感じた事例について、 具体的にご説明ください。

中期経営計画の策定時だけでなく、今年度の実績を踏まえて、建設的な意見交換がなされており中期経営計画の推進について、その監督機能が十分に発揮されていると認識しております。

### 独立社外取締役として、ご自身が果たされている役割、 また今後果たしていきたい役割をお聞かせください。

企業価値の拡大に向けて社会、お客様、従業員、そして株主などステークホルダーの立場からの視点を踏まえた発言を心がけています。

特に、ガバナンスの確立、製油所の世界標準化達成に向けての取り組み、新規事業の投資機会といった議題に関して積極的に議論するよう留意しております。

### その他、株主・投資家へのメッセージをお願いします。

コスモエネルギーグループは東日本大震災時の大変厳しい経営状況下において、果敢に事業ポートフォリオの再構築に取り組み、生まれ変わりました。石油開発事業に並んで石油精製販売事業が収益の柱となり、製油所の世界標準化が達成されれば更に高収益部門となると考えております。加えて再生可能エネルギー事業も洋上風力など先進的にチャレンジしており、この分野では日本のリーディングカンパニーになろうとしております。

石油業界の中では第3極に位置するものの、バランスのとれた高収益グループとして認知される日も近いと確信しております。

## 消費財メーカーでの経験を活かし、 多様なステークホルダーの立場に立った 提言を行ってまいります。



独立社外取締役 監査等委員  
高山 靖子

略歴、選任理由については、P54をご覧ください

### 企業経営における独立社外取締役の役割について、 お考えをお聞かせいただけますか。

この度、コーポレートガバナンスの強化に積極的に取り組んでいるコスモエネルギーグループの独立社外取締役に選任され、改めて身の引き締まる思いです。

独立社外取締役は、企業グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けて、攻めと守りの両面において公正かつ独立した立場から助言と監督をする役割を担っています。なかでも重要な役割は、意思決定プロセスにおいて、企業理念や事業活動とそれを支える企業文化の十分な理解のもと、株主・投資家の皆様をはじめとする多様なステークホルダーの立場に立って、様々な気づきや意見を忌憚なく社内に伝え、経営に活かしていくことにあると考えます。

### 独立社外取締役としての今後の抱負、今後果たしていきたい役割をお聞かせください。

私は、これまで消費財メーカーにおいて、主に、広報・消費者対応、コンプライアンスやリスク対応を含めたCSR全般、そしてESGの推進など、企業をとりまく多様なステークホルダーとの良好な関係性構築に関わる実務を担当してきました。

いま世界が脱炭素化に向かおうとしている中、産業や社会のインフラを支えているコスモエネルギーグループが果たすべき役割と責任は大きいものと認識しています。SDGsの実現と併せ、長期的には再生可能エネルギーを柱としていく事業ポートフォリオをめざす中において、私はこれまでの経験を活かし、ステークホルダーとの関係性に注目するとともに、リスクのアンテナを高く張り、企業価値の向上とガバナンスの更なる充実に力を尽くしていきたいと思っております。

